

わが署の安全衛生活動

荘川営林署 森前 成雄

1. はじめに

当署では、毎年入山期に、決意も新たに、今年こそ無災害で事業を実行しようと、悲願をもって、安全衛生活動を実施するのでありますが、過去10年間を振り返っても、残念ながら無災害を達成することが出来ませんでした。

この10年間における災害発生件数は、(表1)63件で、少ない年で2件、多い年で10件発生しており、年平均にすれば6件ほどの発生となっております。

事業別にみると、生産事業が42件、造林事業が9件、林道事業6件、その他6件で、割合にすると、生産事業7に対し各事業が1となります。

過去10年間の月別災害発生件数(表2)で見ますと、特に7月、10月に災害が多く発生しています。

こうした経緯から、過去の安全衛生活動を振り返り、本年度は人間関係を密にした活動を中心として、次のことを重点として、今迄の活動と共に取り入れて活動を進めて来ました。

2. 人間関係を密にした今年の活動(表3)

1. 署と現場の一体化をめざす活動

① 安全パトロールの実施

月別災害発生件数から、多発傾向月を基にして、定期点検月以外に生産事業を重点にして、安全パトロール予定表を組み署長始め安全管理者をチーフにし、事業担当係を補助者として、予告なしに現場の点検を行うと共に、現場職員と積極的な話し合いの機会をつくって来ました。

また、このほか主任の自主点検報告、現場出張者の安全点検報告も併用しています。

② 安全大会の安全提案制の実施

安全大会には、従来の体験発表から、みんなが参加する新しい試みとして、安全提案を実施した結果208名の対象者から64パーセントの応募があり、144件に登る提案がされて、安全意識を高めることが出来ました。

③ 情報と関心を高める活動

安全衛生ニュース、厚生だより等は、出来るだけ文字を大きくし、漫画や子供の作文等を載せ、現場にも積極的な投稿を依頼して、読みやすくする工夫をし、発行回数も出来る限り多くして来ました。

さらに、公災速報も現場班に行きわたるように配り、類似災害防止に活用しています。その他署長から「家族への手紙」を出し、家族の協力も得るようにしています。

④ 署内活動の充実化

本年度は、安全懇談会の充実化のため4半期1回程署内安全懇談会を開いております。

署内の安全活動の充実と、全体の安全祈願のため庁舎前に、安全旗掲揚塔を職員実行でつくり、各課当番制にして毎日掲揚することをみんなで決め実行しています。

⑤ 安全祈願等

安全祈願等を年1回実施し、今年は、苦しい時の神頼みかも知れませんが、みんなの盛り上りで、山の神を祭り、精神面の充実を図るさゝやかな努力をしております。

⑥ 職業病と健康を守る活動

当署では、毎月1回振動障害訴え者経過調べを行い記録をとって活用していますが、特に当署の産業医の積極的な現場巡視の指導、及び研修は、非常に効果をあげています。

署の指導は、主任及び各点検者等で指導を行っています。

このほか、腰痛予防の器具の考案をして、実行していますし、健康診断受診率向上のため、呼びかけを行い年々受診率は高まっています。

2. 自らやる意識向上の活動

① 安全衛生活動実施計画の読み上げ活動と常時携行化及び年間行事計画表を読みやすいところに貼る方法もとっております。

② 安全日誌の導入

安全日誌の輪番制の記入を今年度から行い当日の作業、29・300事故、感想、要望、などを記載し、主任及び点検者などが目をとおり、余白に指示、激励を記載し、相互の意思疎通をはかるよう取り組みました。

これは、昨年度無災害を達成した古川署の活動を視察し、その利点を導入したものであります。

③ 安全懇談会

安全懇談会には、出来得る限り署からも参加することとし、主任は、懇談会実施後報告書を署の安全管理者等に提出し、検討すべきことは、チェックし適正処理を行うようにしています。

3. 成果と反省と今後の取組み（表5）

〈成果と反省〉

まず、成果としましては、今年の夏山は当署始って以来、画期的な無災害を達成することが出来ました。

また、現在今年度の災害防止に一致協力体制をすゝめておりますが、夏山の無災害は、安全管理者の点検の強化、安全管理体制の充実、相互信頼の深まりによる意識の盛り上りにより自発的な活動力があつたからだと思ひます。

反省と、今後の取組みとして、上意下達傾向に成りがちな活動の歯止めから、下意上達方式への取組みを今後もすゝめること、マンネリズムを排除して、日常のキメ細かな創意工夫の取組みをすること

と。

さらに、職員の自覚と協力の促進、署と現場職員の率先した実行力で、明るい職場づくりの活動をすゝめていかなければなりません。

具体的な活動の一例を挙げますと。

①全員参加の活動計画づくり。

②バイオリズムの活用化。

③情報伝達の創意工夫。

等があります。

当署は現存1メートル余りの積雪の中にあって、平均年齢40才という若い活動力を結集して、冬山作業に取り組んでいますが、今後も災害防止の活動をつづけていくために、「みんなで作り、みんなで実行して行く安全衛生活動」を育てゝいきたいと考えています。

表1 10年間の災害発生件数

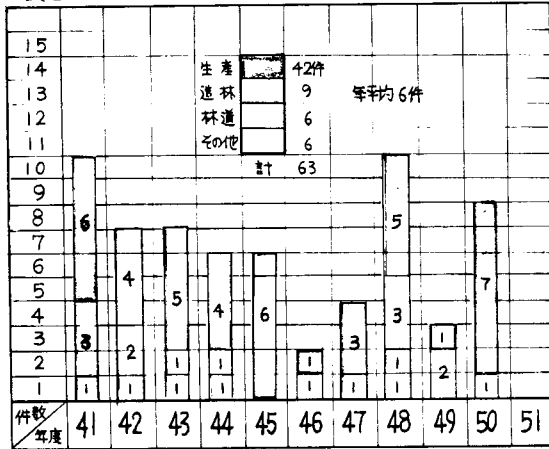


表4

2. 自らやる意識向上の活動	
今迄の活動	今年とり入れた活動
1. 安全衛生活動実施計画配付活用	安全衛生活動実施計画の読み上げ・常時携行化・年間計画の壁貼り化
2. 推進員予エックカード記入推進員研修ビデオコーナーの安全指導	安全日誌の輪番制記入・予エック
3. 安全懇談会・常会等の充実	安全懇談会等の安全管理者報告事後処理の適切な多理
4. 現場の具体的な活動実施事項の作成と活用	現場の具体的な活動実施事項の目標作りと活用・反省

表2 10年間の月別災害発生件数

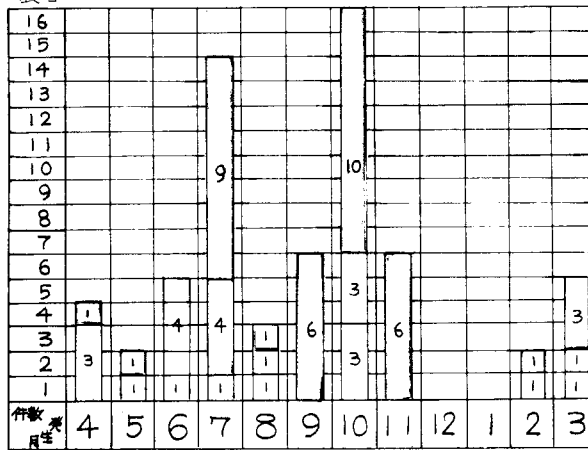


表5 成果・反省と今後の取組み

＜成果と反省＞	
1.	覆山作業無災害の達成 <安全管理者等の積極性・信頼の深まり・意識の盛り上げ・自発的な活動力>
2.	「上意下達」・「意向の押し付け」から「下意上達」方式への取組み
3.	マンネリズムの排除・キメ細かな創意工夫の取組み
4.	取組の自覚と力力の発揮・現場取組の充実した実行力での明るい活動力
＜具体的な今後の取組み＞	
①	全員参加の活動計画作り
②	振動病予防と治療の適正指導・定着化
③	パイオリズムの活用化
④	情報伝達の創意工夫
⑤	現場取組と懇話を密にする
⑥	安全日誌の創意工夫
⑦	安全掲示板の設置
⑧	他署の活動状況の交流
⑨	安全日誌の創意工夫

表3 人間関係を密にした今年の活動

1. 署と現場の一体化をめざす活動	
今迄の活動	今年とり入れた活動
1. 安全点検・自主点検	安全ハットルール・出張点検
2. 安全大会体験発表（代表制）	安全大会の安全提案制（全員制）
3. 安全衛生ニュース・公安通報配付	読まれるニュースの創意工夫類似災害防止の活用化・「家族への手紙」で理解を
4. 安全懇談会・常会・T・B・M	署内懇談会・安全放火場場作り・署内安全当番制
5.	安全祈願・安全祈願設置
6. 職業病予防と治療の指導・健康指導	認知者週月/日の調査報告産業界の現場指導・研修・実地者の指導・職業病予防の基研発表